

ポリマーセメント系 下地調整材 兼 仮防水材

# セレタリー

セレタリーは、工事中の構造物を雨水から守るために開発された一時防水材です。改修工事で既存防水を撤去した際に、本防水までの間、構造物を雨から守り、次の工程へスムーズにつなぎます。

## 特長

- **安全性**  
水系の材料のため有害物質を発生させず、作業員や環境に配慮した製品です。
- **施工性**  
湿潤面の場合でも施工が可能です。またローラーや刷毛などで容易に施工できるため、作業効率を高めます。
- **付着性**  
超微粒子カチオン性アクリル樹脂プライマーを併用することでコンクリート下地に深く浸透し、ピンホールの発生を抑制し、膨れを防ぎます。

## 適用下地と新規防水材

適用下地		新規防水材	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンクリート</li> <li>● モルタル</li> <li>● アスファルト防水撤去下地</li> <li>● 塩化ビニル樹脂系シート防水撤去下地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ゴム系シート防水撤去下地</li> <li>● ウレタン塗膜防水撤去下地</li> <li>● ポリマーセメント系塗膜防水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 改質アスファルト防水 (冷工法)</li> <li>● ウレタン塗膜防水</li> <li>● 塩化ビニル樹脂系シート防水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ゴム系シート防水</li> <li>● ポリマーセメント系塗膜防水</li> </ul>

※新規防水材のプライマーは水系又は弱溶剤系をご使用ください。  
※対応できない防水材もありますので弊社までお問い合わせください。

## 製品一覧

製品名	荷姿	内容	性状	色調 (硬化後)	1セット(缶)当たり標準施工面積	
<b>ショウワカチオンプライマー</b> 	4kg缶 16kg缶	2倍液で使用 (原液1:水1)	外 観/微黄濁色液体 主成分/アクリル系エマルジョン	透明	4kg缶	53m <sup>2</sup>
					16kg缶	213m <sup>2</sup>
<b>セレタリー</b> 	34kgセット	粉体 17kg袋	外 観/灰色粉末 主成分/セメントモルタル粉末	茶褐色	—	34m <sup>2</sup>
		混和液 17kg缶	外 観/乳白色液体 主成分/アクリル・EVA系エマルジョン			

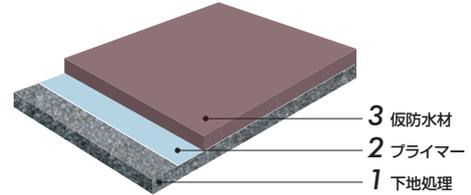
本製品は、JCQAによりISO9001認証された事業所により管理されています

## 施工手順

工程	種別	使用材料	標準塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	施工方法	乾燥時間 (20℃)
1	下地処理	—	—	—	—
2	プライマー	ショウワ カチオンプライマー (2倍液)	0.15	ローラー、 刷毛等	約1時間
3	仮防水材	セタリー	0.8~1.0	ローラー、 刷毛等	約3時間

## 配合

工程	下地調整材兼仮防水	仮防水材
セタリー粉体	17kg	17kg
セタリー混和液	6.8~8.5kg	17kg
水	—	0~1kg
使用量	1.0~2.0kg/m <sup>2</sup>	0.8~1.0kg/m <sup>2</sup>
乾燥時間(20℃)	3時間以上	3時間以上



## 1 下地処理

- 既存防水層を撤去後のコンクリートやモルタル下地が基本となります。
- レイタンスなど脆弱部、油脂類等、接着を阻害する恐れがあるものはサンダーなどにより除去、清掃してください。
- 漏水箇所は止水処理を行ってください。湿潤面でも施工は可能ですが浮き水、たまり水がないことを確認してください。

## 2 プライマー塗布

- ショウワカチオンプライマー2倍液(原液1:水1)をローラー、刷毛等で0.15kg/m<sup>2</sup>を塗布してください。
  - 下地の吸い込み、乾燥が著しい場合は、追加塗布により調整してください。
- ※下地の状況によってはプライマーを省くことが可能な場合があります。詳細は弊社までお問い合わせください。

## 3 仮防水材の塗布

- セタリーを粉体1:混和液1の配合で混練し、ローラー、刷毛等でピンホール、塗りムラ等の無いように0.8~1.0kg/m<sup>2</sup>を塗布してください。
- ※下地調整を兼ねる場合は、粉体17kg:混和液6.8~8.5kg(配合比/10:4~5)の配合で混練し、コテで1.0~2.0kg/m<sup>2</sup>を塗布してください。
- ※本防水ではないため、施工後に降雨、降雪、下地の動き等の影響により防水層にひび割れが発生し、仮防水性能を維持できなくなる場合があります。また施工後は速やかに本防水を施工してください。

## 注意事項

### 〈施工上の注意〉

- 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適当な保温、採暖を行ってください。
- 施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は施工を中止してください。
- 現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けてください。
- セメント製品に特有の現象である白華(エフロ)が発生することがありますが、品質に異常はありません。

### 〈使用上の注意〉

- 取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後はうがい及び手洗いを十分に行ってください。
- 取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。

### 〈応急処置〉

- 目に入った場合:直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合:直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 誤飲した場合:多量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

### 〈保管上の注意〉

- 粉体
- 雨露のかからない湿気の少ないところに保管し、地面に直接放置しないでください。
- ご購入された製品は製造日から4ヶ月以内にご使用ください。

### 〔混和液、プライマー〕

- 凍結や直射日光を避けるために必ず室内(5~40℃)に保管してください。
- 開封後の使用残は密封した状態で保管してください。

このカタログの記載内容は'26.2月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。  
安全上の注意事項の詳細については別途、安全データシート(SDS)をご参照ください。

### 〈輸送上の注意〉

- 粉体、混和液とも内容物の漏れが無い事を確認し、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水漏れに注意してください。

### 〈廃棄上の注意〉

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

### 〈漏出時の注意〉

- 飛散した粉体は掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。
- 流出した混和液を流路を毛布、土壌等を用いてせき止め、バキューム等で吸い上げるか、少量の場合はおが屑、ウエス、乾燥砂等に吸収させて回収し焼却してください。
- 粉体が混合した排水は中和、希釈処理などを行い、河川等に直接流出しないようにしてください。

### 〈環境への配慮〉

- 混和液が海、河川、湖沼、池、下水道、公共用水域へ流出すると、広範囲にわたって汚濁汚染することとなるので、絶対に破棄したり誤って流入させないでください。万一流入した場合は地方自治体の担当者に直ちに連絡してください。また、地下水を汚染するおそれのある地中には捨てないでください。

## 株式会社レゾナック建材

### ■ 本社・営業部

〒221-8517  
横浜市神奈川区恵比須町8番地  
TEL(045)444-1691  
FAX(045)444-1699

[https://rkc.resonac.com/dobokuzai\\_kp/](https://rkc.resonac.com/dobokuzai_kp/)

【ISO 9001 品質マネジメントシステム登録事業所】

■ 仙台営業所	〒 983-0841	仙台市宮城野区原町3-7-14	TEL (022) 742-5077	FAX (022) 291-1911
■ 名古屋営業所	〒 460-0008	名古屋市中区栄3-11-23	TEL (052) 249-3151	FAX (052) 249-3152
■ 大阪営業所	〒 532-0011	大阪市淀川区西中島6-5-3	TEL (06) 6100-2202	FAX (06) 6100-1232
■ 福岡営業所	〒 812-0013	福岡市博多区博多駅東1-17-1	TEL (092) 577-1205	FAX (092) 577-1206
■ 関東 SCM センター	〒 120-0024	足立区千住関屋町1-4	TEL (03) 3881-5001	FAX (03) 3870-3952
■ 東北 SCM センター	〒 983-0034	仙台市宮城野区扇町1-7-2	TEL (022) 231-2070	FAX (022) 231-2073
■ 中部 SCM センター	〒 452-0837	名古屋市西区十方町172	TEL (052) 501-2421	FAX (052) 501-2424
■ 関西 SCM センター	〒 567-0058	茨木市西豊川町14-3	TEL (072) 641-6400	FAX (072) 641-6401